

28号 熱田高同窓会報

発行
愛知県立熱田高等学校
同窓会事務局
TEL(052)-652-5858

同窓会ホームページ
[URL:http://www.atsuta.gr.jp/](http://www.atsuta.gr.jp/)

熱田高校ホームページ
[URL:http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/](http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/)

目次

巻頭文 ----- 1
人工芝運動場の維持管理体制に向けて
副会長 25 回生 奥田隆庸

熱田高校の今
20 代校長 桑山 幸久
定時制課程の今
教頭 小島 徹也
勤務して感じたこと
教頭 中澤 高志

がんばれ熱校生 ----- 4
伝統の日本髪の世界
15 回生 今西恵子(旧姓 平田)
何度でも青春を
61 回生 吉田 友紀
熱田高校で得た財産
64 回生 奥山 莉帆

同期会報告 ----- 6
17・26・14 回生

熱田高校の今 ----- 7
文化祭・修学旅行・体育祭
高校総体に参加して
楽しむことが大切
69 回生 3 年 渡辺望生
初めての大会
70 回生 2 年 井上 稔
定時制通信制体育大会の報告
定時制 4 年 吉田将隆
「蓮の実」(パステル画)
11 回生 田中和枝(旧姓 竹内)

事務局だより ----- 8
人工芝事業の寄附状況報告
同期会の助成金について
会報作成協力者の募集
訃報連絡
同窓会QRコード



体育祭(選手宣誓)集う団旗 令和 5 年 10 月 24 日

人工芝運動場の維持管理体制に向けて

副会長 奥田隆庸(25 回生)



熱田高校創立 70 周年記念式典に華を添えるべく、愛

知県下初の公立高等学校運動場の人工芝化実現に向け取り組んでまいりました。早いもので施工から 2 年の月日が経とうとしています。想いおこせばコロナ禍の大事業となりましたが、『決意と覚悟』を持って計画に挑戦しました。

人工芝の確保や学校との調整など紆余曲折を経て、学校・同窓会員・関係各位のご尽力を賜り、予定通りに竣工できました。「ふるさと納税」を含め貴重な寄附金を頂戴したことに感謝申し上げます。

今後には、学校使用・管理側)・PTA・同窓会(維持管理する側) 3 者との協力が必要と考えます。

今後は、運動場の維持管理が求められ、これからのスタートであり、十分な維持管理体制を構築できれば、各種の教育活動や地域連携の起点の役割を果たす効果が期待できます。

秋の体育祭も予定通り開催されたと聞いております。雨天で運動場が使用できないと言ったことがないのではないのでしょうか？

今後予想されることは、グラウンドラインの塗装・グラウンドクリーニング・人工芝の修繕、人工芝の取替などです。それには、学校使用・管理側)・PTA・同窓会(維持管理する側) 3 者との協力が必要と考えます。

そして、地域社会との連携によって、母校熱田高校が地域に愛され、地域の拠点として末長く大切に活用されることを願っています。



熱田高校の今

第 20 代 校長 桑山 幸久



謝申し上げます。

同窓会会員の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心より感

5月に新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けが、季節性インフルエンザと同じ5類へ移行したことにより、学校行事も以前に近い形で開催できるようになりました。

9月に行われた文化祭の一般公開では招待者の範囲を広げ、卒業生や中学生にも来ていただき、校内はたくさんの人でにぎわいました。

5月の球技大会や10月の体育祭では、仲間の大きな声援の中で競技が繰り広げられ、クラスの団結が深まりました。

2学期の始業式では、生徒のピアノ伴奏のもと、久しぶりに全員で校歌を歌うことができ、学校としての一体感を感じることができるようになりました。ただ、コロナは完全に終息することはなく、インフルエンザの早い流行もあり、まだまだ注意が必要な状況です。

近年、ジェンダーレスの考え

により、中学校や高校で制服の変更が行われています。本校も昨年度より検討を始めました。フルモデルチェンジではなく、現在の制服は残しながらブレザータイプのもを「第3の制服」として、新たに導入する方向で進めています。生徒の意見も取り入れながら、近隣の学校と差別化できオリジナリティーがある制服を検討しており、令和7年度入学生からの導入を目指しています。

また、昨年までに1・2棟の長寿命化改修工事が終わりましたが、3棟と昇降口がまだ残っており、夏休みから工事が始まっています。来年の夏過ぎまで不便な生活が続きますが、校舎がきれいになるのは楽しみです。黒板はホワイトボードに、トイレは全て洋式便座に変わります。

夏休みに行われた学校説明会には、2日間で約2000人の中学生と保護者の方にご参加いただきました。定員に満たない高校が多い中で非常にありがたく、これまで伝統を築いてこられた同窓生の皆様に感謝しています。

今後も生徒の教育活動のために環境を整え、皆様から愛され、誇りに思ってもらえる学校を目指していきたいと思えます。

定時制課程の今

教頭 小島 徹也



平成 20 年代中盤以降、令和時代定時制高校には「働きながら学ぶ場」ではなく、「学び直しの場」

や「再チャレンジの場」としての社会のニーズが大きくなっています。本校でも正社員として働く生徒はあらず、中学時代に不登校傾向にあつた生徒や他の高校を中退して定時制に入学してきた生徒が多くなっています。また、様々なルーツを持つ外国籍の生徒も年々増えつつあります。

そういった状況下で、学習活動では「授業を大切に」をモットーに、落ち着いた学習環境づくりと分かり易い授業を目指しています。多様な生徒が在籍しているため、生徒の学力や学習意欲には個人差もあります。個々の生徒の状況に応じた指導を行うことで少しずつ成長していき、進級するにつれ授業の雰囲気や取り組む姿勢も良くなっています。

毎年、生徒たちはHRの時間などを利用し生活体験作文を書きます。数人の作文を読みましたが、様々な苦勞や困難を乗り越えながら成長し

ている姿を感じます。第63回愛知県定時制通信制生徒生活体験発表大会では、2年生伊藤りえさんが「成長」という題で発表し、教育振興会賞を受賞しました。

在籍生徒が、4学年で70名と少ないものの球技大会や体育祭・文化鑑賞会などにも熱心に取り組み活気ある学校生活が展開されています。

6月の球技大会は今年度初めてボーリングを実施しました。経験ある生徒もない生徒も一投一投、ボールとピンの動向に一喜一憂する姿や打球後におどけて見せる姿など、普段の教室内では見ることができないような生徒の表情を見せてくれました。9月の文化鑑賞会は、ミッドランドスクエアで映画鑑賞を実施。生徒の選択により興味ある作品を観てそれぞれに心打たれる経験をし、校内の活動のみでは経験できない情操教育の一助となりました。10月の体育祭では生徒会役員が中心となって準備や当日の運営を行い、教員もチームを作って4年生との試合にのぞむなど、校内が一つになって実施できた行事だと思えます。

11月中旬実施の3年生修学旅行は、コロナ禍を乗り越え、数年ぶりに沖縄に戻りました。平和学習を中心に充実した2泊3日になることを期待しています。



修学旅行 沖縄へ「守礼門」集合写真

今後、多くの生徒が「熱田高校
定時に入学してよかった、充実し
た学校生活だった」と答えてくれる
ような学校でありたいと思っていま
す。

勤務して感じたこと

教頭 中澤 高志



私は、令和2年
4月から本校に勤
務しています。

この3年と少し

は、新型コロナウイルス
イルス感染症に振り回された学校現
場でした。日本中だけでなく世界中
を震撼させた感染症のため、令和2
年度に一斉休校、その後も学校行事
の中止・縮小、学習活動内容や部活
動の自粛などが続きました。学校で
は、サーキュレーターを各クラスに

設置、アルコール消毒液の準備・消
毒、ワクチン未接種の生徒への集団
接種などの取組を行いました。参考
例もなく、まさに試行錯誤の連続の
日々でした。感染拡大を食い止める
ため、生徒には、マスク着用・換気
の励行、3密（密閉・密集・密接）
の防止などを呼びかけるとともに、
感染状況に応じた授業内容や部活動
の活動自粛をお願いしました。学校
に集う皆さんが、その意義を理解し、
行動していただいたことを通して、
熱田高校の行動力・団結力の強さを
感じました。

令和3年度に、部活動やクラス
で感染が広がりつつあった際、熱田
保健センターに本当にお世話になり
ました。濃厚接触者の特定方法につ
いて親身に相談に乗っていただき、
適切に特定していただいただけでな
く、大量の検査キットの提供・検査
の実施をしていただき、熱田高校は、
地域から関心を持っていただいでい
るとともに、

愛されている
ことを実感し
ました。

新型コロナウイルス
ウィルス感染
症は、令和5
年5月8日に
5類感染症に



移行し、終息方向に向かってい
るに思われますが、インフルエンザ
など他の感染症の拡大により教育活
動に制限が必要な場合も予想されま
す。経験から得た知識をもとに、教
育活動の充実と継続に力を入れたい
と思います。

それから、勤務してからの学校の
様子を語る際、施設の充実を外すこ
とはできません。令和2年7月から
1棟、続いて2棟、令和5年7月
からは3棟と工事が進んでいます。
生徒にとって一番恩恵があるのはト
イレの改修ではないでしょうか。校
舎の外観も変わり「新しい時代の熱
田高校」の観があります。同窓生の
皆様もぜひ正門前からご覧ください。
また、工事に伴い物品等の移動の協
力をお願いすると、部活動生徒はじ
め多くの生徒が協力してくれます。
本校生徒の優しさを直に感じる瞬間
です。

また、記念寄付事業のおかげで、
教育環境自体がよくなり感激してい
ます。創立60周年では体育館の空
調設備の更新、創立65周年ではウ
ォータークーラーの設置、創立70
周年ではグラウンドの人工芝化など、
生徒が学校生活を営む上で役に立つ
ものを寄贈していただいております。
生徒が利用する姿を見るたびに、同
窓会の皆様の温かいご理解ご支援に

感謝の念を抱いております。同時に、
在校生や近年卒業された方に、学習
環境の改善にご尽力いただいたことに
同窓会活動に今後ぜひ関心を持って
いただき、関わりを持って欲しいと
思います。

近年、多くの高等学校で、同窓会
役員の高齢化、若い世代の参加率の
低下を聞きます。卒業すると、新た
な生活の忙しさから、「自分が積極
的に関わらなくも」とか「面倒だ」
「得になることがない」と思っ
てしまうのでしょうか。若い世代は中
高時代の友人との絆が強いと聞きま
す。ぜひ様々な形の絆を大切にす
る。一歩を踏み出し、同窓会の活性化
を担うことを願っています。

最後に、同窓会のますますの発展
と同窓会員の皆様のご健勝を祈念
いたします。



教科「情報」 中澤高志先生の授業

がんばれ熱高生

今回は昭和42年から15年間本校に勤められた今西英雄先生の奥様で、15回生の今西恵子さん。彼女はガンを克服し、70歳を超えた今も、伝統の日本髪を守って髪結師として活躍されています。3年間の高校部活動を人生の分岐点という若き高校教師61回生の吉田友紀さん。部活動と勉学を両立させ、県大を卒業し社会人の第一歩を踏み出した34回生の奥山莉帆さん。3人の女性に原稿を依頼した女性特集です。

伝統の日本髪の世界

15 回生 今西 恵子(旧姓 平田)



高校生の頃にはこんな職業に憧れたのですが、私とは思いもよらなかったのですが、私は2004年に独立してからスタッフと共にブライダル美容着付に携わってきました。その中でどうしても伝統的な日本髪

技術を修得したいと思う京都の先生に教えを受け、現在髪結師として活動しています。日本髪といってもほとんどの人は、着物を着た時に髪をうしろでまとめるアップヘアとの認識だと思いますが、かつらではなく京都の舞妓さんが自分の髪で結っている髪型と言えればわかって頂けるでしょうか。

ゴムもピンも使わず、髪の毛に「びんつけ油」をつけ、つげの櫛を使って大相撲の力士さんがちよんまげを結っている元結(もつとい)という紙の水引のようなもので結えて形を作ります。



需要は少ないのですが、幸いなことに名古屋や岐阜には妓連という芸妓さんの集まりがありお座敷に出て



おられます。その中に何名かの舞妓さんがいらつしやつたので結髪を担当させて頂くことが出来ました。

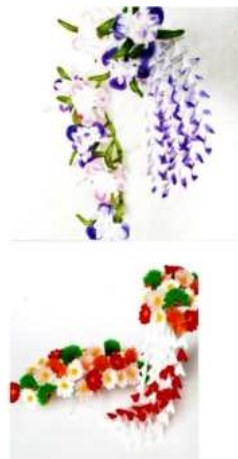
女性が髪を結い上げるようになってしたのは江戸時代前期あたりからで、とても長い歴史のある文化です。

約束ごとにも多く美しいシルエットを作ることはなかなか難しいことです。

舞妓かんざし

もともとつまみ細工を趣味でやっていたので舞妓さんたちから、「かんざしを手に入れるのが難しくなっているで作ってもらえないか」と頼まれて製作をはじめました。舞妓かんざしは正絹の一番薄い羽二重を自分で染色して2cm角に裁断、花びらをピンセットでつまんで作りま

す。これも型が決っているのでオリジナルなデザインで作ることはほとんどありません。かんざしは月ごと



に挿すものが決っており、舞妓さんの写真を見れば何月に撮ったものかすぐわかります。テレビや舞台で私が作ったかんざしを挿して舞妓さんが踊っているのを見るのはとても嬉しいです

2020年にがんの手術で声を失って障害者となりましたが身体はいったって元気なので以前と同じように仕事を続けています。

最近、自分の髪で文金高島田(花嫁の髪型)を結ってほしいと言われるお嫁さんが少しずつ増えているので嬉しい限りです。

伝統の日本髪を守って次の世代に繋いで行きたいと願っています。インスタグラムで私の制作について紹介しています。

Kanzashi_heja310QRコードで検索して下さい。



©KANZASHI.HEJA310

何度でも青春を

61 回生 吉田 友紀



私の 16 年間の学生生活を振り返った時に、一番戻りたいと思うのは高校の 3 年間です。その 3 年間で振り返ってみると、思い出の大半を占めるのは部活動です。

私はバスケットボール部に所属しており、高校生活はとにかくバスケットボール中心の生活でした。朝から夜まで部活動で、バスケットボール部の仲間とは家族よりも多くの時間を共に過ごしました。人間観察力・礼儀や挨拶など、それまで何となくやってきていた私にとっては、全てが刺激的で人間として大きく変わる事ができた 3 年間だと思っています。

最初の頃は試合も出られず、悔しい思いもたくさんしました。しかし、仲間の励ましや支えもあり試合に出る時間も増えていきました。上級生になったときには主将を務めることになりました。チームの中心としての責任感やいつも周りのことも考える視野の広さ・心配りなどが、バスケットボール生活が更に

充実したものになったと感じています。また、1 人で解決できない問題に出会った時には仲間が相談に乗ってくれ、周りの人へ感謝する気持ちが自然と出てくるようになりました。



バスケットボール部の仲間と(県ベスト 4)

私は 1 人では生きていけないのだと、部活動を通して改めて感じる事ができました。部活動は、楽しいことばかりではなく、涙を流した時には友とぶつかり合ったりもしました。何かに熱中するという事は、いつでもできるものではありません。部活動中心の高校生活でありましたが、私の人生においてとても大切な分岐点となる 3 年間だったと思います。その 3 年間があったからこそ、人間の幅が広がったと自分なりに思います。

私は今、小さい頃からの夢であった高校教諭をしています。学校を卒業してからも、高校生活楽しかった！ 高校生に戻りたい！ と思ってもらえるよう、生徒に対して接しています。

私は生徒に対して、高校生活は充実した人生を決める一分岐点であり、一生の仲間や友人を得、人生を豊かなものにする瞬間であると話しています。その手助けができるよう、生徒に寄り添いながら自分にできることを全力で取り組んでいきます。

(今でも私は高校生活で出会った友人や部活動の仲間とは定期的に会っています。)

(杜若高校教諭)

熱田高校で得た財産

64 回生 奥山 莉帆

私は今とても幸せです。高校時代の経験があったからの事と思えます。私はかっこよく言えば文武両道に励みながら高校生活を過ごしました。

部活動では硬式テニス部に所属し、平日は毎日朝と授業後の練習、土日には試合が組まれました。高校生から硬式テニスを始めた私にとっては、体力的に厳しく、また直ぐに結果が出るわけではなく、沢山悔しい思いをしました。



私は根っからの負けず嫌いなので、練習の前後に自主練習をしたり試合動画を繰り返し見て知識をつけ毎日コツコツと努力していただくを思い出します。しかし、1 人で努力できない

かったと感じています。厳しい練習も仲間との声掛けで乗り越えられたり、顧問・副顧問からの熱い指導やメンタルサポートがあつて、私は 3 年間活動を全うすることができました。テニス部での経験がなければ一生懸命仲間と手を取り合うことの楽しさや諦めずに最後までやり遂げる事の大切さを学ぶことはできませんでした。

また、勉学面では、定期考査で学年順位 1 位を取ることを目標に、部活が終わって疲れて家に帰っても予習・復習を怠らなりました。大受験では 2 年生の終わりからの目標である第 1 志望の国公立大学に合格することができました。それも、自分が努力できる環境を熱田高

校の先生方や友人らが作り上げてくださったからだと感じています。私は予備校に通っていません。平日の授業後に教室で自主学習をし、わからないことがあればすぐに職員室に行き先生方に質問しました。志望校選びについて親身になって話を聞いてくださった担任の先生にはとても助けられました。また、当時に励まし合っていた友人らの存在があったからこそ受験期を乗り越えることができました。



卒業を祝して

家族はもちろん、先生方や友人の支えがあつて、私は高校時代に全力で努力することができました。私は社会人1年目なのですが、「今まで多くの人に支えてもらった分、次は沢山の人に少しでも幸せを届けたい」という想いを持って職に就きました。これから人生を生きるにあたって、周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、努力を惜しむことなく生きていきたいらと思ひます。

同期会報告

17回生 同期会

『古希を迎えて』

令和5年9月17日。金山ANAクラウンプラザホテル名古屋の5階ロビーで13時開演。参加恩師3名（F組 市川次郎・H組 八谷芳樹・美術教師今西英雄）総勢92名でした。



17回生 記念の集合写真

26回生

『還暦を祝して』



26回生 記念の集合写真

コロナ禍で1年延期の会は、令和5年11月3日(祝)17時から、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋28Fで開催しました。恩師6名(301小室裕子・302林博之・304八谷芳樹・305松原実・306万前秀男・308市川次郎)と卒業生遠くは北海道・南は九州からの118

名の参加を得た。開演前から開演後も思い思いに旧交を温め合つて、料理もそつちのけで同期生や恩師との一時の歓談を楽しみました。共通するキーワードは「健康第一」で再会を誓い閉会しました。

14回生 同期会

令和5年11月5日 12時開会
東京第一ホテル錦で参加者は72名でした。



14回生 記念の集合写真

熱田高校の今

文化祭 9月10・11日開催

(11日 一搬公開)



修学旅行

9月27日～29日

広島・宮島・岡山・神戸



神戸にて



広島で



体育祭

10月24日開催



高校総体に参加して
楽しむことが大切

69回生 3年 渡辺望生

陸上生活最後の総体で目標であった全国大会へ出場することができました。1年生から2年生の間、大きな試合では自分の力を出し切ることができずに、終わることばかりでした。



左側 渡辺望生・右側 井上 稜

自分の中で試行錯誤をくり返し試合への意識を変え、全力で楽しむことを大事にし試合に挑みました。最後の総体、とにかく楽しむことを忘れずに挑み、最初の1投を投げ込みました。結果決勝ラインを越えることはできず終わってしまいました。全国大会という大きな舞台で力を出しきれ、とても良い経験になりました。この経験は顧問の先生と一緒に練習してきた仲間、応援してくださった多くの方々のおかげだと思います。

陸上生活で様々な経験をしまし

た。その中で何事にも全力で楽しむことが一番大切だと実感しています。受験勉強にせよ、社会人になった時も全力で楽しみ、様々な壁を乗り越えていこうと思っています。

初めての大会
70回生(2年)井上 稜

北海道で開催された北海道総体に円盤投げで出場し、7位に入賞することができました。



北海道総体大会 / 秋父宮廻杯第76回全国高等学校

とき翼 北海道総体

今までこのような大きな舞台で何かをする、ということがなかったので、緊張と不安がいっぱいでした。一緒に来た仲間や先生のサポートのおかげで良いコンディションで本番を迎えられました。雨が降っているなかの予選では、足元が滑った選手がいるなか、落ち着いた投げで自分のベストを出すことができ、なんとか決勝に進むことができました。

決勝では自分の全てをぶつけ、1投目で

自分のベストを再び出すことができ、その記録のまま8位が確定しました。そして8位のまま迎えた6投目で44mを投げることができ、最後の最後で7位に上がることができました。この試合のなかで更に成長できたと思います。またサポートいただいた仲間、応援してくださいました。今回の経験を生かし、更に良い成績を目指し練習に励みます。

全国高等学校定時制通信制 体育大会報告

8月10日〜13日に東京の駒沢オリンピック公園総合運動場で全国高等学校定時制通信制体育大会第58回陸上競技会が行われました。大会に、4年生の吉田将隆君が



円盤投げ・砲丸投げの2種目に参加しました。今年で3年連続出場になります。記録は円盤投げ28m 06cmで5位入賞。砲丸投げ11m 36cm

で準優勝の成績でした。

(引率顧問 内藤 弘幸)

定時制4年 吉田将隆

今年もこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございます。試合では初日の円盤投げは悔しさが残りましたが、その気持ちを翌日の砲丸に乗せることができました。砲丸では自分に満足のできる結果を出すことができて良かったです。これからは希望する進路の実現に向けて、学校生活を頑張っていきたいと思えます。

「蓮の美」(パステル画)

手にとって振ってみると
中でカラカラ音がする
蓮の花も枯れたあとで実を結び



11回生 田中和枝(旧姓 竹内)

事務局たより

人工芝事業の寄附状況報告

同窓会のホームページを利用して、寄附事業関係一覧を掲載しておりますからご覧下さい。

第1回人工芝維持管理のための打合せ会(奥田隆庸(25回)・青木宏憲(23回)副会長が参加する。同期会の開催に関して

同窓会より、通信費・宛名ラベルの費用は援助しております。ぜひ利用してください(上限5万円)。
連絡先 学校幹事または役員まで
会報作成協力者の募集
皆さん、「同窓会報」を作るにあたって一番苦労する点は、会員の皆様、今何を会報に求めておられるのかということです。内容でお気づきのことや意見のある方は会報係宛か事務局までお知らせください。また会報作成協力者を募集中! パソコンに堪能な若い方、会報作成に御協力ください。

訃報

- 寺脇 千鶴 2回生 令和5・6・6
- 河合 正治 6回生 令和5・3・6
- 森 秀三 16回生 令和5・8・17

～逝去に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共にお知らせいたします。(係より) クラス幹事のみなさまへ
訃報は悲しい出来事ですが、事務局(学校)まで葉書でお知らせください。